令和５年度
二戸市立福岡中学校
学校だより第１０号

永遠の躍進

発行日：Ｒ０５．０８．１８
発行者：校長　筒井　裕一
二戸市福岡字下川又 22－１
☎２３－３３２５

学 校 教 育 目 標　意欲に燃え、自ら学ぶ生徒【自学力】

規律を守り、責任を果たす生徒【責任感】　剛健で実践力のある生徒【実践力】

大人に学ぶキャリア講演会　充実した学びに

全校生徒を対象にした「大人に学ぶキャリア講演会」を７月 11 日(火)に開催しました。各界で活躍されている 15 名の講師のみなさんのお話では、これからの生き方や将来設計で大切にすべきことが語られ、生徒に多くの示唆を与えてくださいました。生徒の感想から、この「大人に学ぶキャリア講演会」が充実した学びの時間であったことが伝わってきました。代表的な生徒の感想を紹介したいと思います。

石輪 FP 事務所
ﾌｧｲﾅﾝｼｬﾙﾌﾟﾗﾝﾅｰ
石輪　成人　氏

＜感想＞
お金についての講演会は人生で初めてだったけれど、自分のこれまでの人生を見直すきっかけとなったので良かったです。お金は働けば取り返せるけれど、時間はもとには戻せないことを改めて実感し、今この瞬間をもっと大切にしようと思いました。私は、失敗を恐れてチャンスを逃してしまうことが多いけれど、失敗に対しての考え方を教わり、ポジティブに考えて、次のチャンスは絶対につかむぞという気持ちになりました。　―途中省略―　失敗を教訓にして、何回でも挑戦し、最高な人生をつかんでいきたいです。ありがとうございました。　（３年女子）

㈱あべはん
グループ
阿部　荘一郎　氏

＜感想＞
「あべはん」の歴史や鶏肉の生産方法など、今まで知らなかったことを詳しく学ぶことができました。初代社長が鶏肉を売るかペプシコーラを売るかのどちらを選択するか迫られた時、農家の人たちのことを考えて鶏肉を選んだから、いまの「あべはん」があることを知ることができました。だからこそ、地域の人々からも愛され、世界にまで知れ渡る企業に発展したんだと思いました。阿部さんが「食」で二戸や日本を支えているように、私も二戸のことをたくさん知って、二戸のことを支えていけるような大人になれるよう、たくさん勉強を頑張ります。　（３年女子）

株式会社小松製菓
執行役員
青谷　耕成　氏

＜感想＞
何度も食べたことのある南部せんべいやチョコ南部は、世界に挑戦し、世界的に認められていることが分かりました。僕もイカせんべいが大好きなので、テレビで１位になったと言われると、うれしい気持ちになりました。青谷さんのお話を聞いて、特に頑張ってみたいと感じたのが勉強です。英語も社会も伸ばしていけるように頑張ります。「夢はゼロから作り出せる創造物。１度きりの人生を謳歌」という言葉が心に残っています。一度の人生を大切にし、真面目に生きていきます。今回の講演会でプラスになるお話をしてくださり、ありがとうございました。　（１年男子）

下斗米登記測量
事務所
下斗米　佑太　氏

＜感想＞
　下斗米さんの講演から学んだことは、土地家屋調査士という初めて聞く職業についてと、二戸の良さについてです。年収とかふつうは聞けないようなことも聞くことができてよかったし、国家資格の合格率が 10%と難しいことも分かりました。自分の性格に合った中立公正な立場での仕事だというお話から、自分も自分の性格や長所短所を見直して、最大限自分の力が活かせるような仕事に就きたいと思いました。そして、二戸は、地域の人も本当に優しいし、平和でいい所だと改めて思いました。　―途中省略―二戸の恥にならないようにしなければと思いました。　（２年男子）

堀野調剤薬局
薬剤師
増田　　香　氏

＜感想＞
　薬剤師になるには、１年に１回の国家試験に合格しなければいけないこと、合格率は 69%と医師や看護師の合格率 90%に比べても受かりにくい資格であることが分かりました。薬剤師の仕事は、お客様の体調や命に関わるのでミスが許されないこと、就職先は調剤薬局だけでなく、ドラッグストアや医療施設、公務員など様々な職に就くことができることも分かりました。私は医療系を目指しているので、理科を重点的に学ぶことの外にも、少しでも薬の種類を覚えていきたいし、少しでもいろいろな経験をしていきたいと思いました。　（２年女子）

㈱二戸サントップ

田村　真樹子　氏

＜感想＞
　サントップの皆さんが作っている洋服は、パリコレや小林陵有選手、沢山の芸能人の方々が着用していることに驚きました。１着の洋服を作るのに、沢山の時間と皆さんの努力があり、その分思いのこもった１着が出来上がっていることが分かりました。洋服にはその時の流行がある中で、ファッションの最先端を歩んでいることも分かりました。　―途中省略―海外と関係しているお仕事でもあるので、これからの社会でも英語が必要だと分かったので、これからの英語の学習と、皆さんのように協力することの２つを大切にしながら生活していきます。　（３年女子）

二戸市役所
公民連携推進課
大平　隆義　氏

＜感想＞
　市役所の仕事はたくさんあって、50 個くらいの部署があることを知りました。　―途中省略―　自分はもともと市役所の仕事に興味があったので、市役所のことを知ることができてよかったです。市役所は、あまり表で活躍しない仕事だけれど、住民に喜んでもらえたり、成功したりすると、とてもやりがいを感じる仕事なのだと学びました。今年で中学生が最後なので、この半年間、大平さんが言っていた「挨拶」「時間を守る」「自分のことは自分でやる」「自ら進んでやる」「地道な努力を当たり前にやる」ことができるようになってから卒業し、社会に出たいと思いました。　（３年女子）

株式会社ツガワ

三角　祐太　氏

＜感想＞

僕は普段、失敗を恐れて挑戦しないことが多々ありました。今日のお話を聞いて、挑戦することの偉大さや大切さなどが分かりました。実際の行動に移すには、少し時間がかかるかもしれませんが、気持ちだけでも今日のことを思い出し、頑張りたいと思いました。どんなにすごい人でも、失敗などを乗り越えて結果を出していたことを知りました。　―途中省略―　自分の信念を貫くということや、目標が変わった時のあきらめは決して無駄ではないというお話が心に残りました。人は誰でも失敗する。これを忘れず、たくさん挑戦していこうと思います。　（１年男子）

県北広域振興局
二戸地域振興センター
阿部　いづみ　氏

＜感想＞

今回のお話を聞いて、私は二戸についてあまり知っていないんだなと思いました。　―途中省略―　二戸をＰＲするために「あつまれどうぶつの森」で二戸を再現し、二戸に来なくてもＰＲすることができるという発想がすごいなと思いました。私は、二戸のために何ができるんだろうと考えると、二戸の街をきれいに保つために積極的にゴミ拾いをしたりすることくらいならできるかなと思いました。二戸を盛り上げることをあまりお金をかけずに行ったり、YouTube の活動でも自主的に取り組んでいたりと、凄いなと思いました。これからも頑張ってください。　（３年女子）

カシオペアＦＭ
パーソナリティ
川口　奈々美　氏

＜感想＞

地域で行う自分の「好き」を生かした活動は、都会に出ていくよりも人とのつながりをつくりやすく、地域の声もすぐに届くということが分かりました。私は学代として周りに指示を出すことが多くあります。その時に「声で伝える」ことを意識していきたいと思いました。

自分の「好き」を極めていく。多くの分野に興味を持つ。こうしたことで話の引き出しが増え、違った価値観を持つ人たちとの出会いが増える。このことが、地域で活動することのメリットなのだと感じました。私も自分の「好き」を生かしていきたいと思います。　（３年女子）

久慈ファーム
有限会社
久慈　剛志　氏

＜感想＞

久慈さんのお話を聞いて、自分だけではなく、周りにいる人も幸せでいることが、本当の自分の幸せなんだということが分かりました。また、皆の笑顔のために、失敗を恐れず行動することが大切だと改めて分かりました。行動居た結果の失敗は、次回の行動につながりますが、初めから行動しなければ、何にもつながりません。これからは、自分の趣味などに一生懸命になって挑戦していき、皆の幸せをつくっていきたいです。クラスや日常の中でも自分たちだけ楽しんで周りに不快な思いをさせるのではなく、皆で笑い合えた方が最高に楽しいと思いました。　（３年男子）

まつのまる
こども園
國分　大輔　氏

＜感想＞
私は保育士に憧れていて、保育士になったら小さな子どもたちと思い切り遊びたいなと思っていました。けれど、今日國分さんのお話をお聞きして、ただ遊ぶだけではなく、子どもたちの安全だったり健康だったりを、保育士が守ってあげなければいけないということを知り、そういうことも含めて「保育」なんだなと思いました。私は、まだ目標が決まっていないので、目標を探すことも頑張って、そして今やるべきことも頑張っていきたいです。「100％のベストじゃなくて、120％のベストをめざす」という言葉が心に残りました。目標を頑張って見つけたいと思います。　（２年女子）

ハラハチブ
デザイン
髙橋　　瞭　氏

＜感想＞
髙橋さんのお話を通して「就きたい仕事から考える進路選択」について理解を深めることができました。仕事を選ぶ要素として「収入」「やりがい」「自由」があり、それをもとに仕事を選んでいることが分かりました。また、自分の人生だから、自分で考え、後悔をすく少なくするためには仕事を決められなくてもひとまず頑張り、今から進学先選定を始めていくことが大切だということも学びました。高卒だから、大卒だからなど関係なく、３つの選ぶ要素を大切に働いていきたいです。髙橋さんの実体験をもとにした講演で、リアルな進路についてよく分かりました。　（２年男子）

(株)岩手日報社
二戸支局
町中　大悟　氏

＜感想＞
町中さんのお話を聞いて、私は、新聞の良さについて理解することができました。新聞は、情報の幅広さや正確性だけでなく、書いた記事が「モノ」として残ることができるが、テレビは録画しない限り、見逃してしまえば残らないということに気付き、新聞の有難さについて考えることができました。新聞についてのお話も、関心を持ちながら聞くことができました。今日のお話で、私が最も心に残っていることは「後で後悔しないように、大切な人たちへの感謝の言葉は早めに言う」です。私は、どんなに些細なことでも、親や友達へ感謝の言葉を伝えたいと思いました。　（２年女子）

荒谷果樹園

荒谷　直大　氏

＜感想＞
荒谷さんの講演から学んだことは、経営方針を「思いをつなぐ」にしたことで、お客様や先代、生産者一人ひとりの思いをつなぎ、全員で頑張っているということです。作物は、今日植えて明日実るわけではないからこそ、１回の作業一つひとつを入念に行って、果物一つひとつを大切に育てているんだなと感じました。つまらなそうにしていても誰もついてこないから、辛い作業こそ、どれだけ楽しんで前向きにやれるかが大切なのだいうことが分かりました。　―途中省略―　失敗しても全てが経験。やって無駄なことはない。私も大人になるまで挑戦し続けたいです。　（２年女子）